

# りゅうづう

2017年秋号

介護老人保健施設  
大鳴門シルバーハイソ  
鳴門市鳴門町土佐泊浦  
字高砂50-3  
TEL 088-687-0582  
FAX 088-683-6277

## ご挨拶

陽ざしにはまだ夏の名残があり、日中は夏と変わらないような暑い日もありますが、日が落ちるのは少しずつ短くなってきました。季節の移り変わりを感ずる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年の夏は、8月の最初に台風があり、その後も台風の影響なのか曇りや雨の日が続いたのでも8月前半は眩しい青空があまり見られない夏でした。日差しがない分涼しく過ごすことができることはたいへんありがたいことですが、だからといって熱中症対策を怠っていないでしょうか。

りと熱中症の対策をして残暑も乗り越えていきましよう。



## セタ



7月1日から7日までは、セタ飾りを行いました。

笹は、毎年職員が本物の笹を用意してきます。そして、用意した笹に入所者様、職員共に短冊に願いを書き、叶いますようにと想いを込めて飾りました。

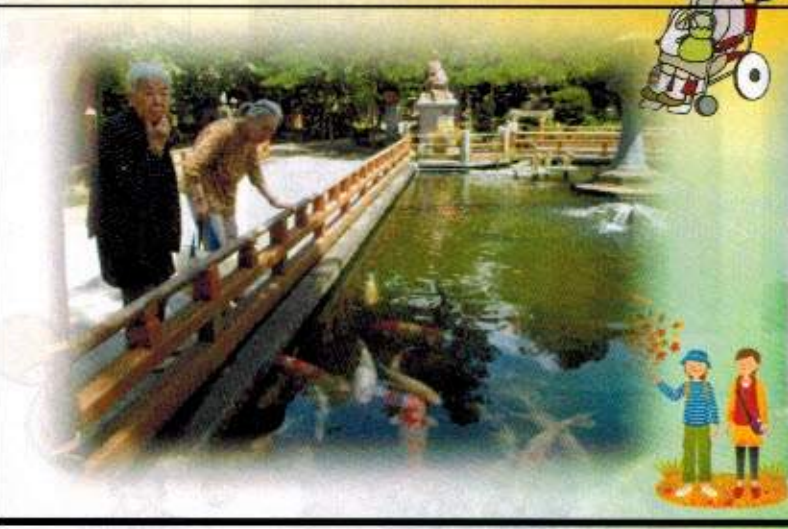
願いの多くは、自身の健康や家族の幸せを願うものでした。また、7月7日にはレクリエーション時に織姫と彦星の紙芝居をしました。紙芝居を懐かしく思う人は多く知りましたが、織姫と彦星の話を知っている人は、意外と少なく「へえこんな話があったんやな」と頷いていました。紙芝居の後には、皆でセタの唄を歌ったりなどして楽しく過ごされました。



## お出かけ



日常の活動として天気の良い日は、入所者様のご要望に応じて外出を行っています。同じ人ばかりが外出しないように参加者は毎回交代したり、行先も同じ所ばかりではなく、ショッピングセンターに買い物に行ったり、公園に散歩に行ったり、札所に観光に行ったりして毎回様々な場所に行っています。





皆さんこんばんは  
ボランティアです



長の挨拶

浴衣美人の登場

鳴門病院付属看護専門学校  
リーダーの市川さん



年度  
バーハイツ

祭



歌ならまかせて

みんなたのしいなー

8. 18

祭です  
と雰囲気と  
みました  
皆さんは  
最後まで  
きました



釣れるかなー

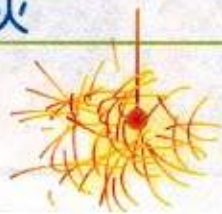
イエー賞品ゲット



ハットサー

懐かしの花火

きれいやな





この印籠が  
目に入らぬか!



シルバー劇団による寸劇



真っ赤な太陽ダンス



川端理



上手く刺さるかな?



また歌合戦  
でござー

シルバーの歌姫

平成  
大鳴門シ

納涼



何を食べても美味しいなー



皆さん食事に夢中です

2017

恒例の  
普段と違  
催し物を  
入所者  
納涼祭  
楽しんで



やっぱり夏はスイカだ



的当てゲーム当たらん



ヤットサ



# 7月の盛岡

鳴門琴信会  
なぎさ銭太鼓グループ

7月21日に、鳴門琴信会・なぎさ銭太鼓グループが慰問に来てくださいました。

鳴門琴信会の演奏では、入所者様が一緒に歌って楽しんで、懐かしい曲が流れるとその当時に思い出し、懐かしんでいたりしていました。

華やかな演奏に入所者様も職員も拍手喝采でした。また、職員も指導を受けて銭太鼓を演奏させて頂きましたが、失敗が多かったので入所者様は皆笑って楽しく過ごされていきました。挫けずにまた、挑戦します。



## 入所者の作品について

当施設では、入所者様が毎日訓練室で作業活動を行っています。入所者様の好みや能力に応じて、塗り絵・貼り絵・花紙を使ったモザイクアートなどをする方もいます。一人一人が個人で作品作りをしている方もいれば、複数人で協力し合って大きな作品を作っている方もいます。出来上がった作品はどれも素敵なものばかりで、制作を行っている入所者様も作品が完成した時や展示されているのを見られると、とても嬉しそうな笑顔が見られています。今後は、9月18日に行われる市の展示会に作品を出品いたしました。



## 新人職員紹介



介護  
木下 翔貴

初めまして「きのしたしよき」と申します。六月二十一日より大鳴門シルバークハイツで働かせて頂いております。介護の仕事は、多くの素人です。今は上手くできない事ばかりですが、一つ一つ丁寧に頑張りたいと思います。皆様に少しでも馴染める様にたくさん話が出来ればと思っております。宜しくお願い致します



看護師  
杉本 朋子

私は、高知県出身でこれまで12年間看護師として病院で働いておりましたが、結婚を機に徳島に参りました。まだまだ不慣れな事も多く戸惑うこともありましたが、頑張っていきたいと思っております。これからもよろしく願います。

## 編集後記

今回の季刊誌を作成するにあたり、入所者様が行事で楽しそうに過ごしている姿だけでなく、日常生活でも笑顔を見せている時が多いのでその姿を紹介したいと思えました。その為今回は入所者様の日常の様子も一部を紹介させて頂きました。これからも入所者様が日々の生活の中でたくさん笑顔が見られるように職員一同、日々精進していきたいと思います。

## 夏号季刊誌担当

- 藤井 洋子 看護
- 篠原 寛典 作業療法士
- 小川 雅 介護
- 播磨 聡子 介護
- 長洲 晋也 介護